

市の将来都市像

人と地域が主体のまち
人が集まり、豊かに
すごせる魅力あるまち
活躍する人が育つまち



安全なまちづくりを誓い飯田署長と堅く握手する
寺田市長(上)と出発式(右)

安全・安心のまちづくりに向けて

「町田市防犯パトロール車」の出発式が6月24日、市役所正面玄関前で行われました。関係する町田警察署員や道路管理課、安全対策課職員ら30名が、梅雨の晴れ間の焼けるような日差しの下で寺田市長、飯田町田警察署長の激励を受け、その後白バイを先導し安全対策職員が早速市内巡回に出かけました。

初出勤とあって、寺田市長も自らパトロール車の助手席に乗り込み、まちの様子をつぶさに観察して回りました。

安全パトロール車は今後、特に侵入盗(空き巣)被害の多い地域を中心に、地域防犯の要である自

安全・安心のまちづくりを目指して 防犯パトロール車が出動

安全対策課 ☎709・0635



学生防犯ボランティアも防犯に一役

6月22日町田警察署において学生防犯ボランティアに対する委嘱式が行われました。

地域の方々と連携したボランティア活動を推進することにより、社会の一員としての自覚と地域への貢献による意識高揚を図ること



桜美林学園中・高等部
学生防犯ボランティア委嘱式



玉川学園高等部
学生防犯ボランティア委嘱式

が目的です。

参加学生は桜美林学園中・高等部16人、玉川学園高等部17人の男女学生が中心となり、「学校の周辺エック、校内防犯活動の中心的役割」、「警察署等が行う防犯活動、防犯キャンペーンへの参加活動」、「環境浄化活動への参加」などの活動を行います。

安全で安心できるまちづくりに若い力が加わることでより安全な地域社会になります。

地域のみさんの応援をお願いします。

町田に静かな空を返せ NLPの中止等を要請



東京防衛施設局からありました、厚木基地において7月12日から16日の18時から22時まで夜間連続離着陸訓練(NLP)を実施する予定との事前通告を受けて行ったものです。

併せて、米空母キティホークが5月に入港して以来、町田上空を飛行する空母艦載機の騒音が激しさを増し、それにもない市民から多くの苦情が寄せられていることから、通常訓練時における騒音の解消および事前の情報提供についても、要請を行いました。

NLPは空母の出港直前に行われるもので、終了後、空母は出港し、艦載機は厚木基地を去ります。

近年、厚木基地でのNLPは低騒音機で実施されていることから、同期間の騒音状況は改善されつつありますが、NLP直前に集中的に行われる訓練飛行が新たな問題となっています。今後、市民への被害が拡大しないか騒音状況を注視していきます。

町田市では、機会があることに、米軍及び日本政府に対して要請を行っていますところですが、今後も引き続き、東京都、神奈川県や基地周辺各市とともに、航空機騒音の防止対策等について粘り強く要請していきます。

問合せ調整課 ☎724・2103

きょう7月11日は

参議院議員選挙の投票日です

午前7時から午後8時まで
みんなそろって投票しましょう

第4回境川クリーンアップ作戦が行われました

「私たちの力で境川をきれいにしよう」



町田市、相模原市の両市民の手により境川の清掃を行う「境川クリーンアップ作戦」が、今年も6月13日に行われました。

この取り組みは、両市民の交流と、地域の環境美化・保全に対する意識を高めることを目的として2001年度から始まりました。

主催は、両市の青年会議所、ポイスカウト、ガールスカウト、地元の内会・自治会をはじめ、境川の斜面緑地を守る会、エコネ

4回目となる今年も、活動エリアが金森の鶴金橋付近から森野6丁目のひのき橋付近までの約4kmに拡大され、参加者は8グループに分かれてゴミの回収作業にあたりました。

当日は、前日からの雨模様にもかかわらず、約600人が参加し、あきかんやペットボトル、紙ゴミなどを中心に約630kgを回収しました。

参加者からは、「川の周りがきれいになるのが実感でき、思ったより楽しかった」、「この取り組みをきっかけに、身近な所から自然を大切にしていきたい」などの声が寄せられていました。

至る所にあきかんやペットボトルが散乱

参加者からは、「川の周りがきれいになるのが実感でき、思ったより楽しかった」、「この取り組みをきっかけに、身近な所から自然を大切にしていきたい」などの声が寄せられていました。

教育委員に 名取紀美江氏

7月1日付けで、教育委員に名取紀美江氏(昭和31年生まれ、48歳)が再任されました。任期は4年です。